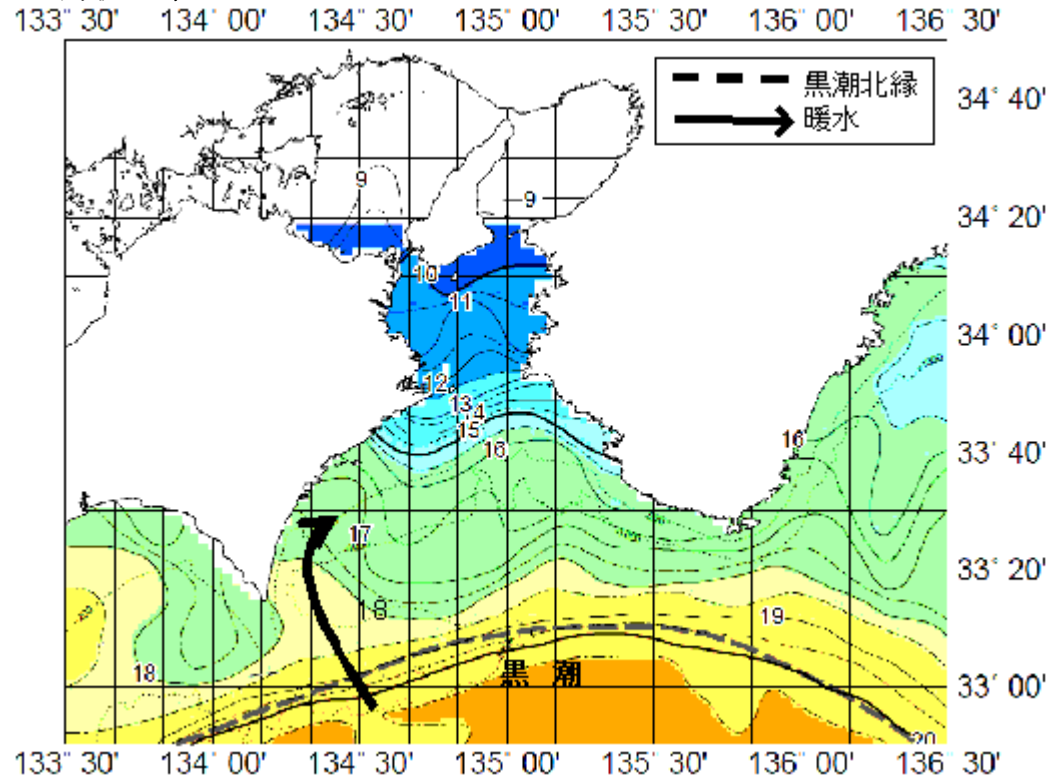


1. 海況の経過



海況

上に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県および和歌山県が共同で作成した海況図(H21.2.9)を示した。

黒潮は、室戸岬沖および潮岬沖でやや離岸している。室戸岬以西の黒潮は、足摺岬沖でやや離岸、都井岬沖で接岸している。黒潮本流の表面水温は19～20℃台である。

表面水温は播磨灘が9℃台、紀伊水道が9～12℃台、外域が12～17℃台である。

冷たい内海系水が、先週中頃以降、海部沿岸上灘周辺に流出している。暖かい黒潮系水は、先週以降、一時的に和歌山県側から流入したものの、現在は徳島県側から流入している。

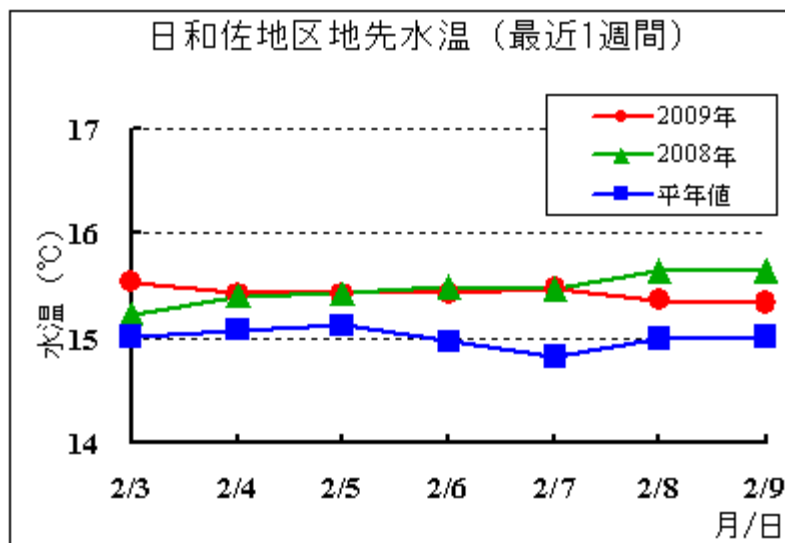
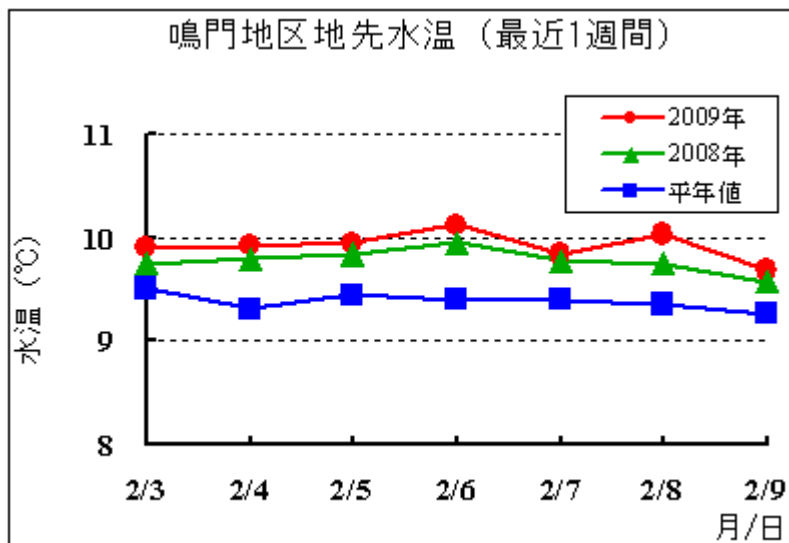
漁業調査船「とくしま」が2月6日に行った播磨灘海区の海洋観測では、水温は全層で「やや高め」の10.0～10.1℃であった。

播磨灘海区観測結果 (観測日 2009/02/06)

水温	水深				塩分	水深			
	表層	10m	20m	30m		表層	10m	20m	30m
今年値	10.1	10.0	10.0	10.0	今年値	33.2	33.2	33.2	33.3
平年偏差	0.9	0.9	0.9	0.8	平年偏差	0.5	0.5	0.5	0.5
前年偏差	1.5	1.4	1.5	1.5	前年偏差	-0.1	-0.1	-0.1	0.0

地先水温

最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「平年並み」～「やや高め」の9.7～10.1℃、日和佐地区は「平年並み」～「やや高め」の15.3～15.5℃、牟岐地区は「平年並み」～「やや高め」の14.8～15.8℃で推移した。



2. 漁況の経過

延縄:海部沿岸で、カワハギが0.2トン(1日1隻当たり24kg)水揚げされた。

建網:海部沿岸で、中主体にヒラメが0.3トン(同6kg)水揚げされた。

小型定置網:海部沿岸で、アオリイカが1.1トン(同62kg)、ウルメイワシが0.2トン(同241kg)、カタクチイワシが3.7トン(同284kg)、小主体にマアジが0.3トン(同7kg)、マイワシが0.4トン(同82kg)水揚げされた。

大型定置網:潮流の影響を受け、網持ちの回数が少なかった。

釣り:海部沿岸で、大主体にアオリイカが1.1トン(同9kg)、大主体にゴマサバが3.0トン(同78kg)、特大主体にマサバが0.7トン(同20kg)、大・中主体にタチウオが0.6トン(同90kg)、紀伊水道で特大主体にタチウオが0.5トン(同74kg)水揚げされた。

漁業種別漁獲量集計表(抜粋) 2月2日～2月8日 県下5漁協からの聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	カワハギ	9	216	24	
建網		ヒラメ	57	345	6	中主体
小型定置網		アオリイカ	17	1,058	62	
		ウルメイワシ	1	241	241	
		カタクチイワシ	13	3,698	284	
		マアジ	43	295	7	小主体
		マイワシ	5	412	82	
釣り		アオリイカ	131	1,129	9	大主体
		ゴマサバ	38	2,953	78	大主体
		マサバ	38	747	20	特大主体
		タチウオ	7	631	90	大・中主体
		紀伊水道	タチウオ	7	520	74

特異事項:

漁業調査船「とくしま」によるクラゲ調査において、紀伊水道北部の潮目でアカクラゲを確認した。アカクラゲは、1平方メートルあたり0.003匹であり集群してなかった。

週間予報:

黒潮は、室戸岬、潮岬でやや離岸で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先で「平年並み」の9℃台、日和佐地先で「平年並み」の15℃台で推移する見込み。

他県情報:

和歌山県のひき縄釣りで、カツオが42.7トン(1日1隻あたり45kg)、ビンナガが7.3トン(8kg)、定置網で、ブリが9.4トン(同1.2トン)、ワラサが0.4トン(同44kg)、釣りでサバが1.0トン(同17kg)、イサキが0.3トン(5kg)、パッチ網でシラスが16.0トン(同381kg)水揚げされた。

*水温偏差の目安

平年並み:±0.49以下, やや高め(やや低め):±0.50~1.49, 高め(低め):±1.50~2.49, かなり高め(かなり低め):±2.50以上